



図書だより 冬休み号

令和2年12月23日
開南幼稚園 永森 加奈

楽しい冬休みを

急に寒くなって、雪が降り、真冬の到来となりました。年長・年中は例年とは違う仮設園舎での生活で、長いようであつという間の2学期でした。年少・ひよこは図書室に来る機会が少なかったため、3学期は新しくなった図書室でたくさん絵本に触れて欲しいと思います。

色々な絵本に出会うことで、言葉や知識が増えます。「この本、お母さんが読みたいって」と言って借りていく子もいました。誰かと思いを共有することは、意欲を更に刺激します。一緒に読んで面白かった！という思いを共有してください。

年末年始は、習慣や風習など子どもたちに伝えたいことがたくさんありますね。絵本を利用してご家庭でも話題にしてください。冬休みならではの経験をたくさんして、元気に新学期を迎えられますように。



ながもいさんのおはなしかい

12月に読んだ絵本を紹介します。

「すてきな3にんぐみ」 (借成社)

「ぐりとぐらのおきやくさま」 (福音館)

どちらも私が大好きな絵本です。寒いこの時期、心温まるものを選びました。どのクラスもお話が始めると、真剣に絵本を食い入るように見つめ、最後まで集中して聴いてくれました。そして、嬉しいことに、必ず貸し出しになります。楽しい心に残る絵本をたくさん読んであげたいと思っています。



環境について考えよう



南棟の改築により、エネルギー使用を抑え、環境に優しい園舎になりました。

園舎の設計をした嶋影氏を通じて、目黒区地球温暖化対策啓発絵本「しろくまフロートくんのおねがい」をいただきました。脱炭素社会を目指し、私たちを取り巻く環境は変わってきています。絵本を活用して、子どもたち一人ひとりが考え、行動ができるように働きかけていきたいと思っています。

冬休みの貸出し

本日、**2冊**貸し出しいたしました。

お家でお子さんと一緒に読んで
楽しい時間をお過ごしください

返却 1/12 (火)

始業式に忘れずに返却をお願いします
“約束を守ることを意識する”ということも

子どもの成長過程で大切なことです

自分で準備ができるよう

お子さんに声掛けをしてください

コミュニケーション

貸出しの時、子どもたちは自分の名前を言います。できるだけ子どもの目を見て「どうぞ」と絵本を手渡すと、「ありがとう」と返してくれます。

- ・目と目を合わせて話しかけてくれる
- ・自分が発したことばや表情、しぐさに何らかの形で応えてくれる
- ・応答してくれるから、コミュニケーションの楽しさがわかる

会話によって子どものことばの力がついてきます。そして、語彙力が多いほど深く幅広く考えることが出来ます。単語だけではなく、文章で話しかけることで、子どもの言葉は育ちます。身近なコミュニケーション大切にしてください。



ご協力お願いします

年末の大掃除の際に、ご家庭の本棚の整理もしてみませんか？そして、読まなくなった絵本を「絵本のリサイクルバザー」に寄付してください。1月26日までに“名前と冊数”のメモを添付して担任までお願いします。

バザーは1月27日(水)~29日(金)の自由参観に行う予定です。収益金は、大根販売の代金と共に、新しい絵本の購入に活用させていただきます。